



特産品を販売する小松島西高の生徒ら―台北市の太平洋ところ復興店（同校提供）

小松島西高とつるぎ高の生徒 台湾で特産品を販売

「雪花菜アイス」や「みまから」

小松島西高校（小松島市）とつるぎ高校（つるぎ町）の生徒11人が20日、台湾・台北市の百貨店で特産品を販売した。県や経済団体などでつくる「とくしま農林水産物等輸出促進ネットワーク」が現地で開いている徳島フェアでブースを構えた。

小松島西高は、おからを原料に開発した「雪花菜アイス」、つるぎ高は特産薬味「みまから」やみまから入りの「みそたれ」などを出品。中国語で商品

を説明したり、来場者に試食してもらったりしてPRした。味や風味に興味を持つ現地の人も多く、好評だったという。

県教委が新竹市教育処と交流協定を結んでいる縁で、同市の国立新竹高級商業職業学校の生徒15人も加わり、販売した。

小松島西高の生徒にとつて、海外での販売は初めて。2年の田中よし乃さん(17)は「販売方法や店の雰囲気な

ど、さまざまなこと

が勉強になった」。つるぎ高2年の藤岡理紗さん(17)は「貴重な経験になった。商品を買ってくれてうれしかった」と話した。

（城福章裕）